

事故報告(注意喚起)

九州地方整備局 港湾空港部
工事安全推進室

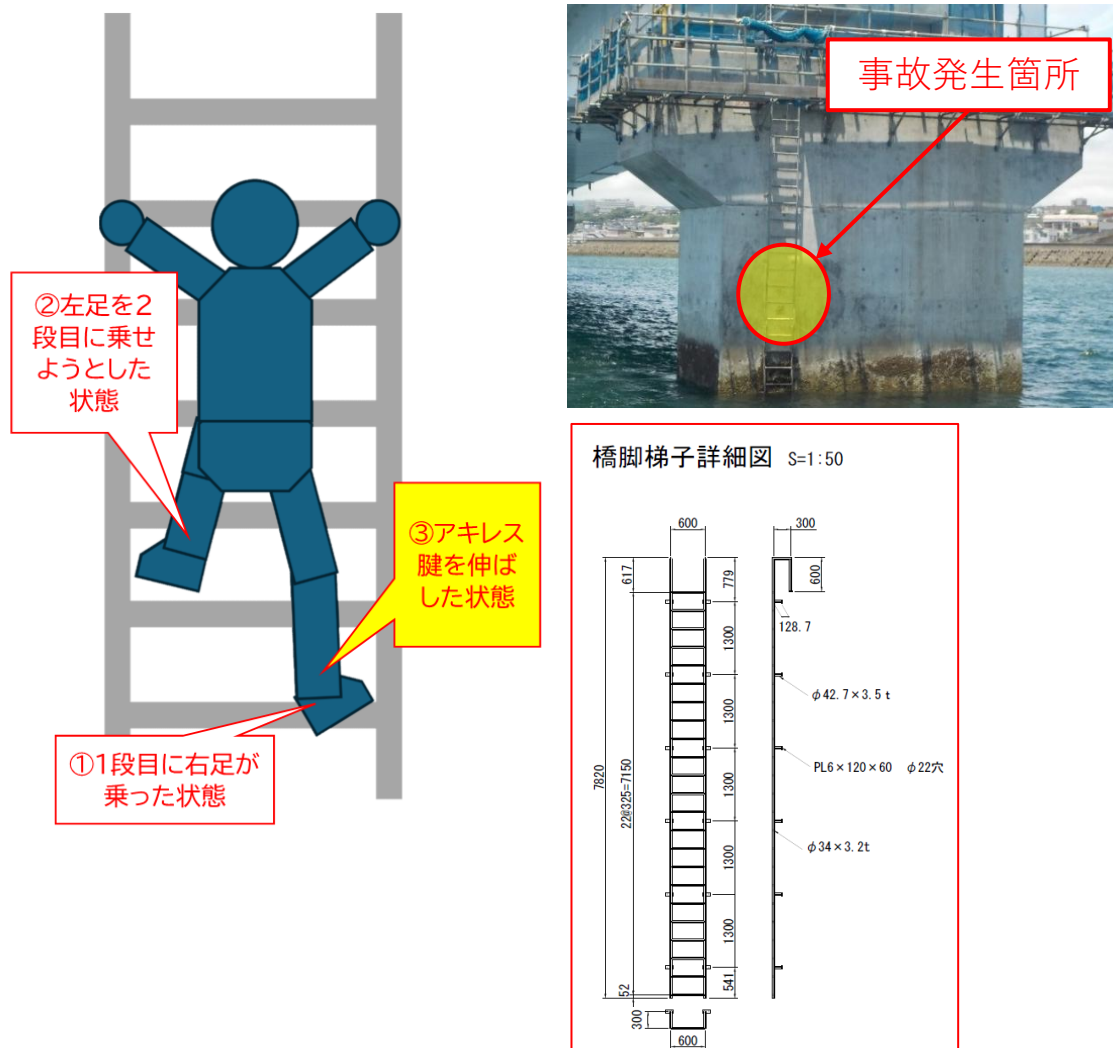
管内事務所の工事で発生しました事故について、事故発生の原因及び再発防止対策を取りまとめましたので情報提供致します。

I. 事故概要

発生日時： 令和8年5月20日(水) 10時10分頃
作業内容： 橋梁上部工 橋歴板設置確認
被災状況： アキレス腱断裂

II. 事故発生状況

- 橋梁上部工工事の立会のため、通船から橋脚に設置してある梯子を使用し立会箇所である上部工へ上ろうとした。梯子1段目に右足をかけ、左足を梯子2段目に掛けようとした際、右足に痛みを感じた。なお、違和感を覚えつつも、単なる捻挫等と考え、通常業務に従事。痛みが引かなかったことから、病院を受診した結果、「アキレス腱断裂」と診断された。



事故発生時の状況

Ⅲ. 事故発生の原因

- 1) 梯子の1段目に右足を掛け2段目に左足を掛けようとして体重が右足にかかり損傷した。
【無理な体勢での行動】
- 2) 足にかかる負担を考えず、事前運動も行わず、梯子を上ってしまった。
【危険に予知に対する認識不足】

Ⅳ. 再発防止対策

- 1) 急な力を出して踏ん張らないように、梯子の乗降の際は、確実に1段ずつ進む。
【安全行動】
- 2) 梯子に足を掛ける際は、足裏の中心を掛け、アキレス腱に体重が掛かりすぎないように荷重の分散を計る。
【危険予知の徹底】
- 3) 立会等で、高所に梯子を使用して上る際は、事前運動（ストレッチ）を実施する。
【安全意識の徹底】